

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（長浜地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月20日（火） 9時15分～11時00

場 所：湖北合同庁舎一階第一会議室

出席者：今井 克美 委員（公益社団法人長浜観光協会 専務理事）

鹿取 輝之 委員（公募委員）

小林 将来 委員（米原警察署 交通課長）

田邊 圭一 委員（長浜警察署 交通課長）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学環境科学部 准教授）

丹羽 崇 委員（公募委員）

長谷川 綱雄委員（米原市障害者福祉協会 会長）

水上 敏彦 委員（長浜商工会議所 副会頭）

三馬 有子 委員（公募委員）

森 和彦 委員（湖北地域消防本部 警防課長）

横山 義人 委員（長浜市都市建設部 部長）

安田 智枝美委員（米原交通安全協会女性部 部長）

吉田 忠充 委員（米原市まち整備部 部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・座長が挨拶を行った。

（2）「第3回地域ワーキング」内容の確認

- ・事務局より第3回地域ワーキングの討議内容について説明を行った。

（3）「第4回地域ワーキング」資料の説明

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・前回のアクションプログラム 2018 に掲載されていた箇所から落ちている路線の評価はどのような結果だったのか。
- ・前回のアクションプログラム 2018 から掲載が落ちている箇所は、地元の理解が得られなかった箇所であり、また社会状況の変化・評価基準も変わっているため、評価をすると点数が低く優先順位を下げってしまった箇所になる。先線については県だけでは検討できないため、市町とともに次のアクションプログラムでどう位置付けていくか検討していく。(事務局回答)
- ・限られた予算なので仕方がないかもしれないが、ほとんどが継続箇所となっている。5年経って手が付かなかったということのないようにお願いしたい。また、着工した前後区間やつなぎの部分も検討してほしい。
- ・拠点間 12 事業と拠点内 9 事業のうち、次の 5 年間で完成が見込まれている箇所を教えてください。交通管理者として、開通にあたって交通規制を同時に行うため、早い段階で情報共有をしてもらいたい。
- ・拠点間の①・③・⑤・⑦、拠点内の⑤は、現在も工事中なので 5 年以内に完成の見込みである。交差点が絡んでくる事業もあるので、早めに警察と協議をしていきたい。(事務局回答)
- ・アクションプログラムの目的は今後、重点的に整備していく箇所を明確にするものであるが、ランク A が非常に少ない。将来像や課題を踏まえてどう整備していくか、長浜土木事務所として A を増やしていく努力をしてもらいたい。
- ・ランク分けの詳細な点数について、ネット上などで公開する予定はあるか。
- ・パンフレットには A・B 評価や点数は載せないが、WG 資料は公開する。(事務局回答)

① 拠点間ネットワーク整備

- ・⑦・⑧大鹿寺倉線の山室工区や多和田工区の仮設の道路について、勾配がきついので危険を感じる。事故が起きるのではないかと懸念している。
- ・下り車線で急なカーブもあり、指摘の懸念は十分に承知している。冬に向けて十分な除雪体制を構築するなど、安全対策に配慮していく。(事務局回答)
- ・①国道 365 号に信号のない交差点がある。車が優先となっていて危ないと感じることがある。
- ・信号のない交差点に信号設置をするのは、交通量からみても難しい。安全対策は交通管理者の警察とも連携し、交差点へのポラードの設置など実施していく。(事務局回答)
- ・①国道 365 号、野一色工区は歩道が未整備なので整備をお願いしたい。
- ・⑤・⑥大野木志賀谷長浜線、上りと下りを左右で分けているが正面衝突しそうになったことがあるので、2つに分かれるところについて表示がきちんとできていないのではないと思う。
- ・指摘の箇所は、現地にて安全対策ができていないか再度確認を行うとともに、早期完了を目指す。(事務局回答)
- ・長浜市と米原市を結ぶ広域的な路線は、重点的な整備をお願いしたい。
- ・神田 S I C が設置は決定しているので、アクセスするネットワークの整備は防災面でも大

事だが、④加田田村線がAランクになっていない。もう少し色々な観点からAランクになるようにしてほしい。

- ・⑨・⑩については、2車線で狭い道路なので、工区を分けてでも5年以内で終わるようにしてもらいたい。

② 拠点内道路空間整備

- ・⑥間田長浜線の本市場工区は5年前のアクションプログラムにも掲載されていたが、一つも進んでいない。これから5年で進める気があるのか。真剣に考えてもらいたい。
- ・市で計画されている道路と幹線道路の役割分担をしながら整備を進めていきたい。(事務局回答)
- ・③東上坂近江線の高溝工区、住宅が非常に立ち並んでいるので、1日も早く完了するようにしてもらいたい。

【その他】

- ・資料の33ページにあるように、アクションプログラムへの掲載箇所とは別に計画の検討を挙げていただいているのはありがたい。
- ・大鹿寺倉線については、JRや天の川もあり難しいとは思いますが何とか改良してもらいたい。また、調査・検討してどのような結果になったのか等も、県HPなどで公表してもらいたい。
- ・行政側だけで検討するわけではないので、地元にも入ってもらいながら、その過程で公開すべきことについては公開していく。また、次回5年後に見直す際にはしっかり説明できるようにする。(事務局回答)
- ・検討・調査の中の東野虎姫線については、地元の盛り上がりも必要だと思うが、期成同盟会の結成も年明けに予定されている。地元と連携して新たなネットワークができればと思う。
- ・ビワイチについて、反射板を撤去した後の走行レーンなどの整備は、この事業自体が来年度以降どう計画されていくのか教えてもらいたい。
- ・ビワイチについては、低速コースがナショナルサイクルルートに指定されたので、今年度中にすべての路線を整備終了する予定。上級者コースについては、植栽帯の撤去を行っての整備となるので、令和8年を目標に整備を進めている。(事務局回答)
- ・ビワイチの自転車環境については、どうにか自然と共存できないか。知恵を出し合いながら豊かな緑と走行環境を調和して、世界に誇れるような自転車ルートを構築してもらいたい。
- ・神田SICは、災害対応や救急対応においても時間短縮が図れるため、早期供用をお願いしたい。
- ・東野虎姫線では、消防庁舎が小倉に移転するので、どこでJR北陸本線を横断するのかなど、検討してもらえるのはありがたい。
- ・道路は非常に重要なインフラである。関西、北陸、東海の結節点という位置付けをどう活かしていくか。神田SICができると5つのICを持つことになるので、それを防災や産

業振興にどうつなげていくか。市も含めて庁内議論をして、広い視点を持って仕事に取り組んでもらいたい。

- 災害や事故などは、いつどのように起こるか分からない。発生すれば世間のニーズや要望が変わることもある。計画の軸はぶらさずに、世間の声やニーズに迅速に連携をとって対応できればと思う。
- 神田S I Cができると、まちなかの渋滞緩和がされて、有効な道路になると思う。早期完成をお願いしたい。
- 拠点内道路空間整備について、賑わいをどう構築していくかという視点はまちづくりでも非常に大事な課題だと思う。彦根市や大津市では取り組んでいる。長浜市や米原市でも大事な観点だと思うので県連携で進めてもらいたい。
- 事業の進捗状況や地域ワーキング後のフォローアップなど、5年間でどうフィードバックしていくのか、県として考えていることはあるか。
- 33 ページの調査路線は、新たな取り組みとして入れた。アクションプログラムを策定して議論が途切れないように、市町とも継続的に議論をするという枠組みである。フォローアップ等については、アクションプログラムの見直しの時期にしか行えていなかったのもので、毎年定期的に行えるか検討していく。(事務局回答)